

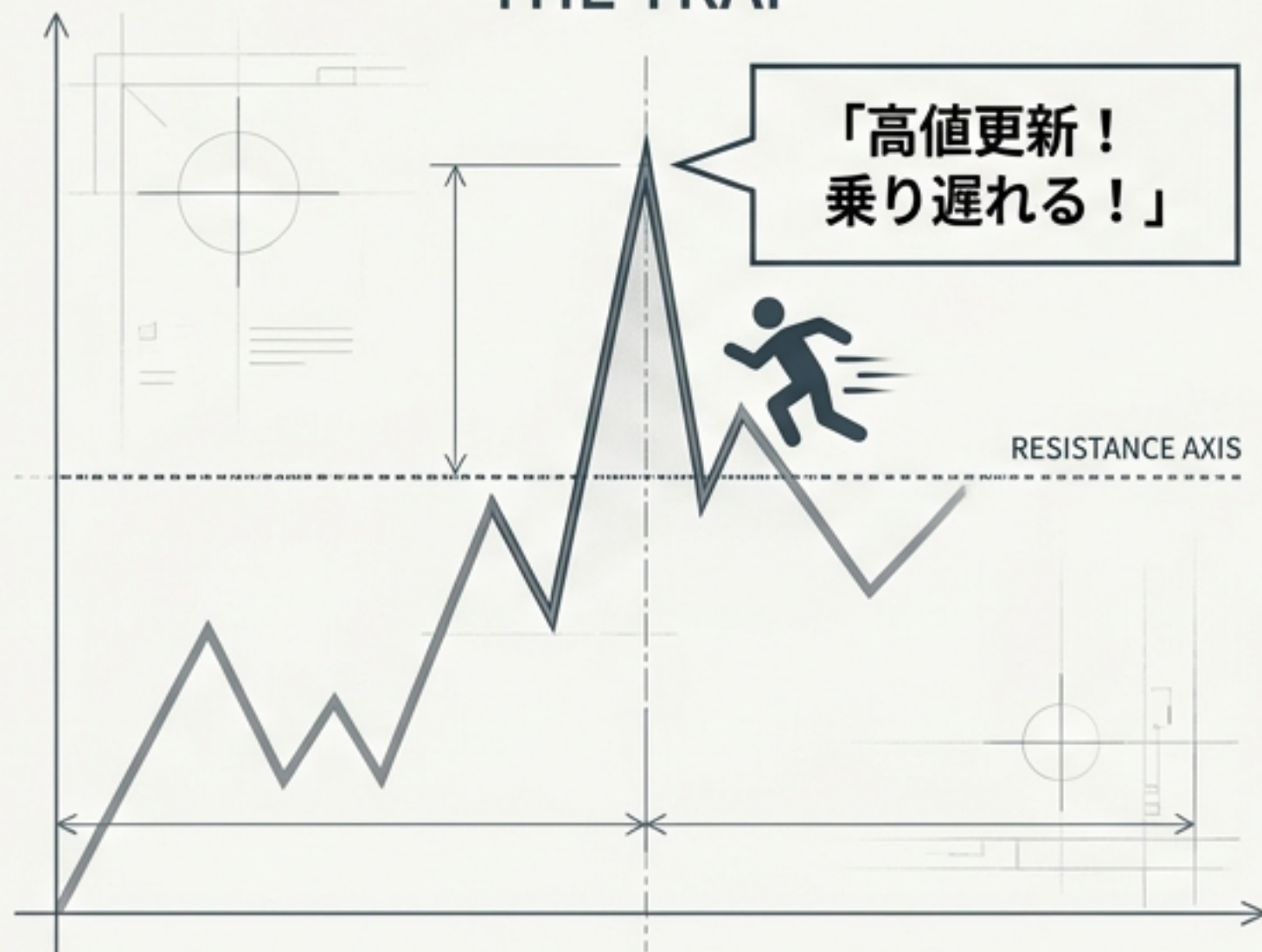
ブレイクアウトの不都合な真実

なぜあなたのエントリーは「ダマシ」に終わるのか？
勝者が実践する「抜けた後」の視点。

誰もが経験する「飛び乗りの罠」

高値更新やレジスタンス突破で焦ってエントリーし、直後に逆行して損切り。
このダメージを引き寄せているのは、実は「チャートの見方」そのものです。

THE TRAP



THE FALL





抜けた「瞬間」は重要ではない

多くの初心者が「ラインを抜けた瞬間」だけを見ています。しかし、相場は単純なスイッチではありません。突破の瞬間を見つめても、そこに勝機はありません。

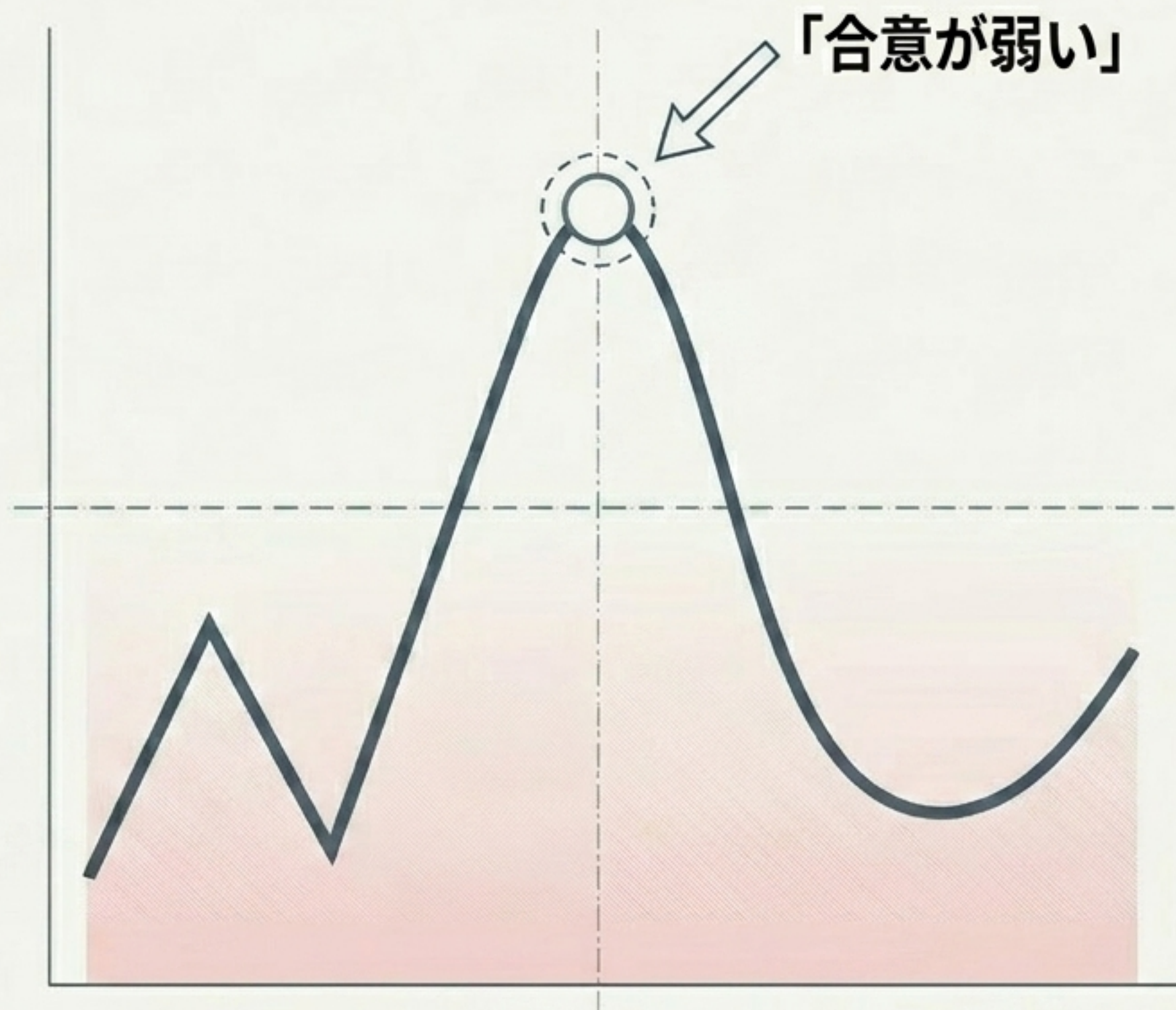
勝負を決めるのは 「抜けた後の反応」

本当に重要なのは、抜けた後に「市場参加者がどう反応するか」です。値動きが維持されるかを確認することが、ダマシを回避する唯一の方法です。



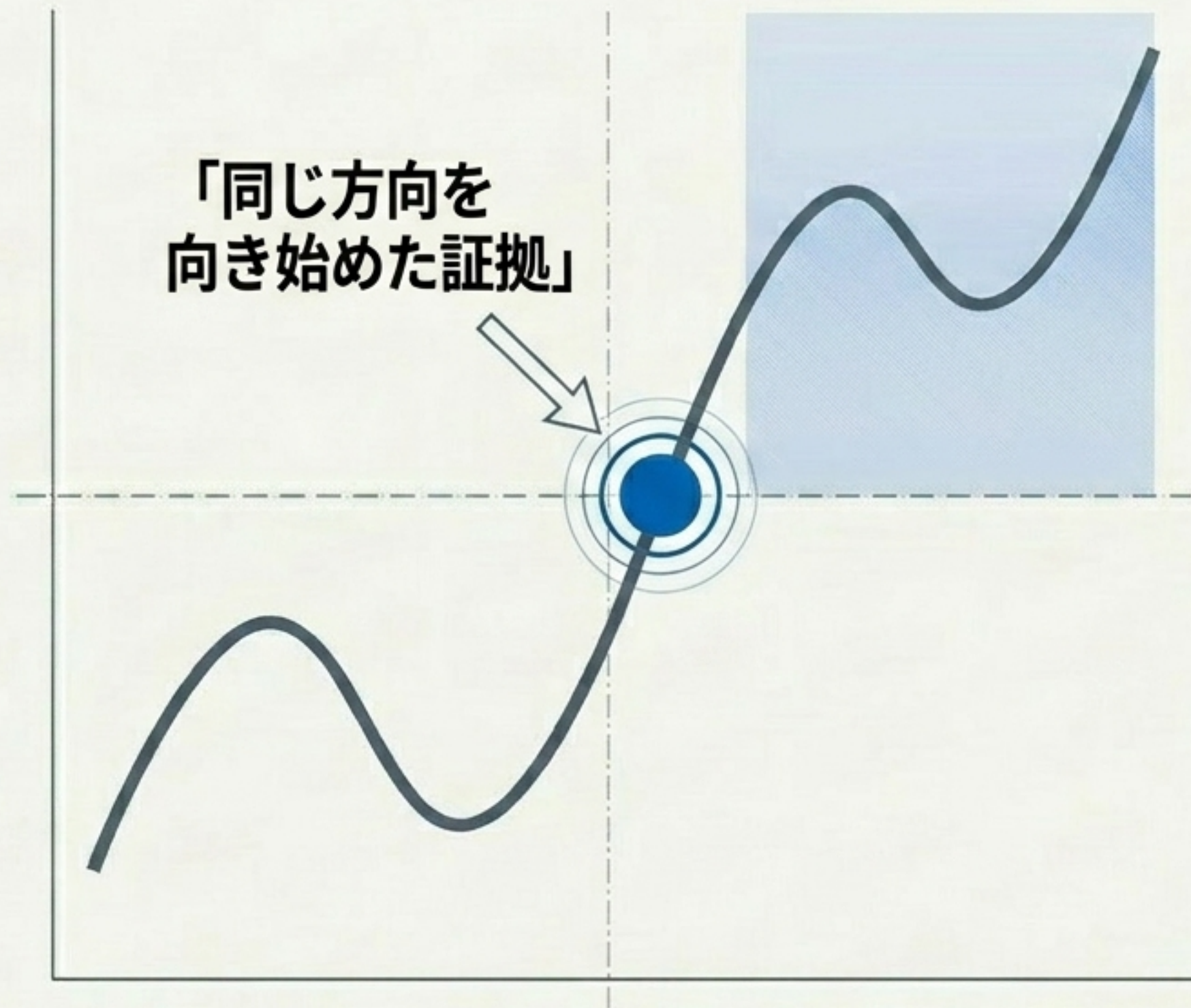
ダマシの正体は 「市場の疑心暗鬼」

ダマシが発生する理由は、市場参加者がまだ「本当に突破した」と思っていないからです。共通認識が形成されていないため、価格は元の水準に引き戻されます。



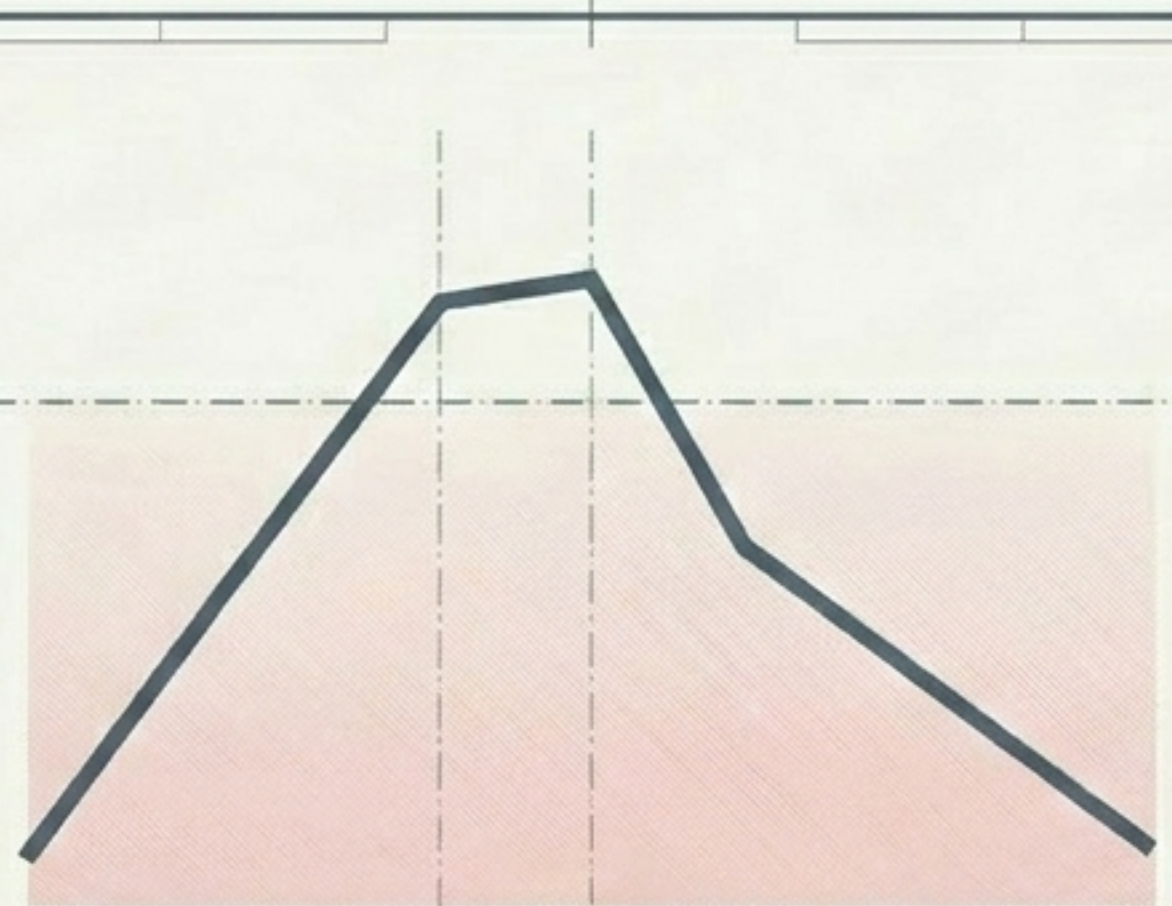
本物のブレイクは 「合意」から生まれる

強いブレイクアウトでは、抜けた後に明確な特徴が出ます。市場参加者が同じ方向を向き始め、値動きが維持される状態です。

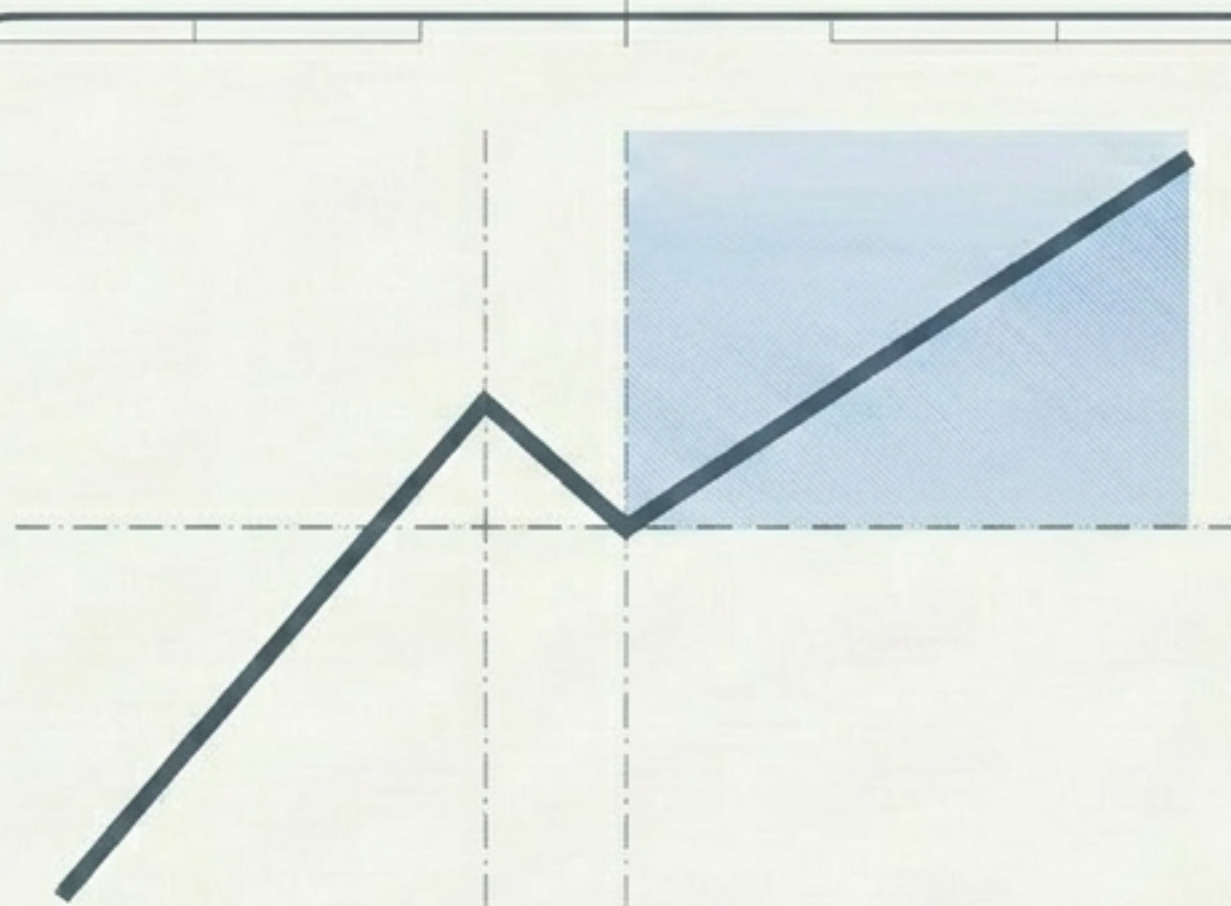


リトマス紙は「押し戻しがどこで止まるか」

完璧に見分けるのは不可能でも、「止まる場所」を見るだけで精度は劇的に変わります。



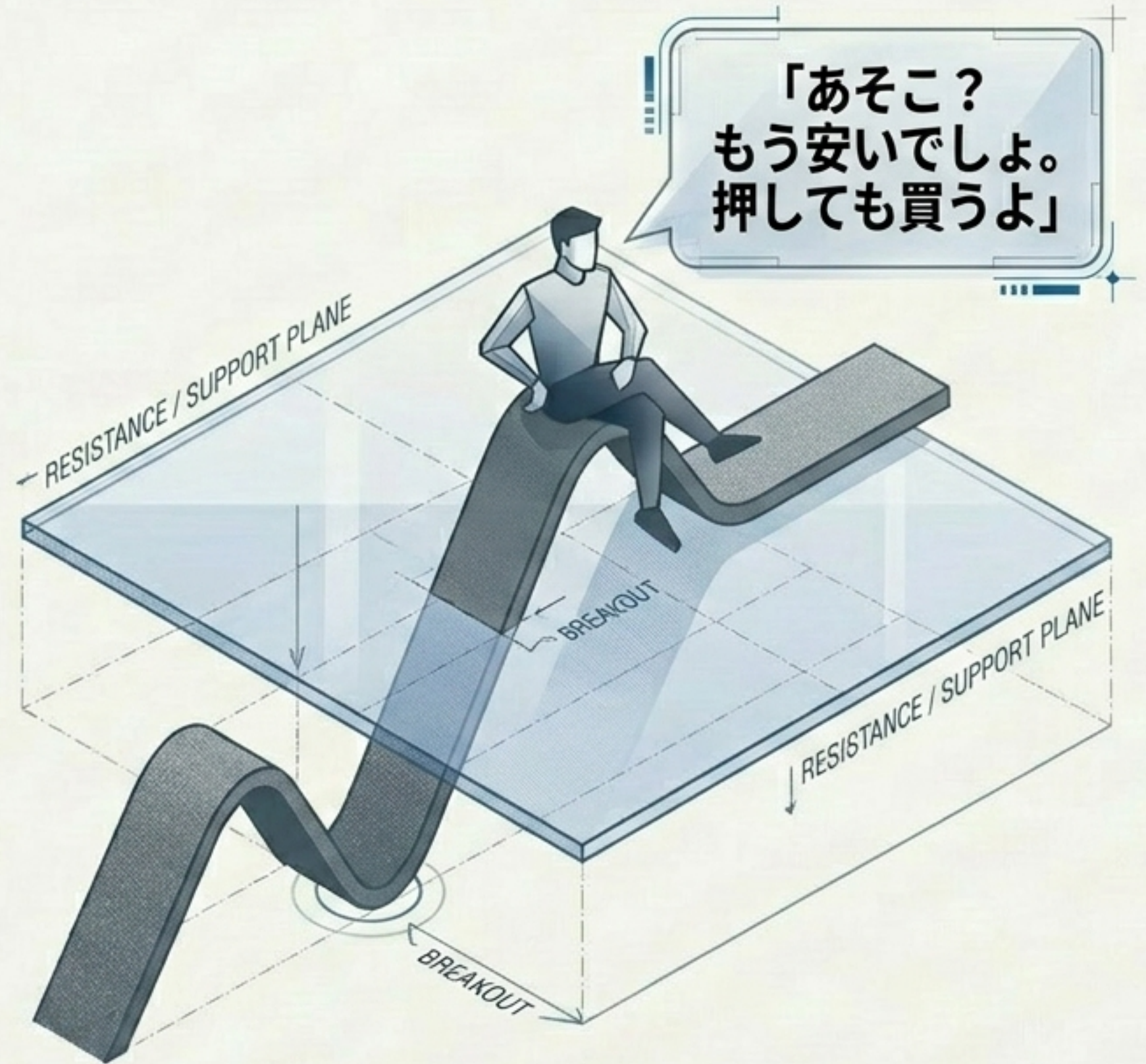
「レジスタンスの下へ戻る = 弱い(ダマシ)」



「抜けたラインがサポートになる = 強い」

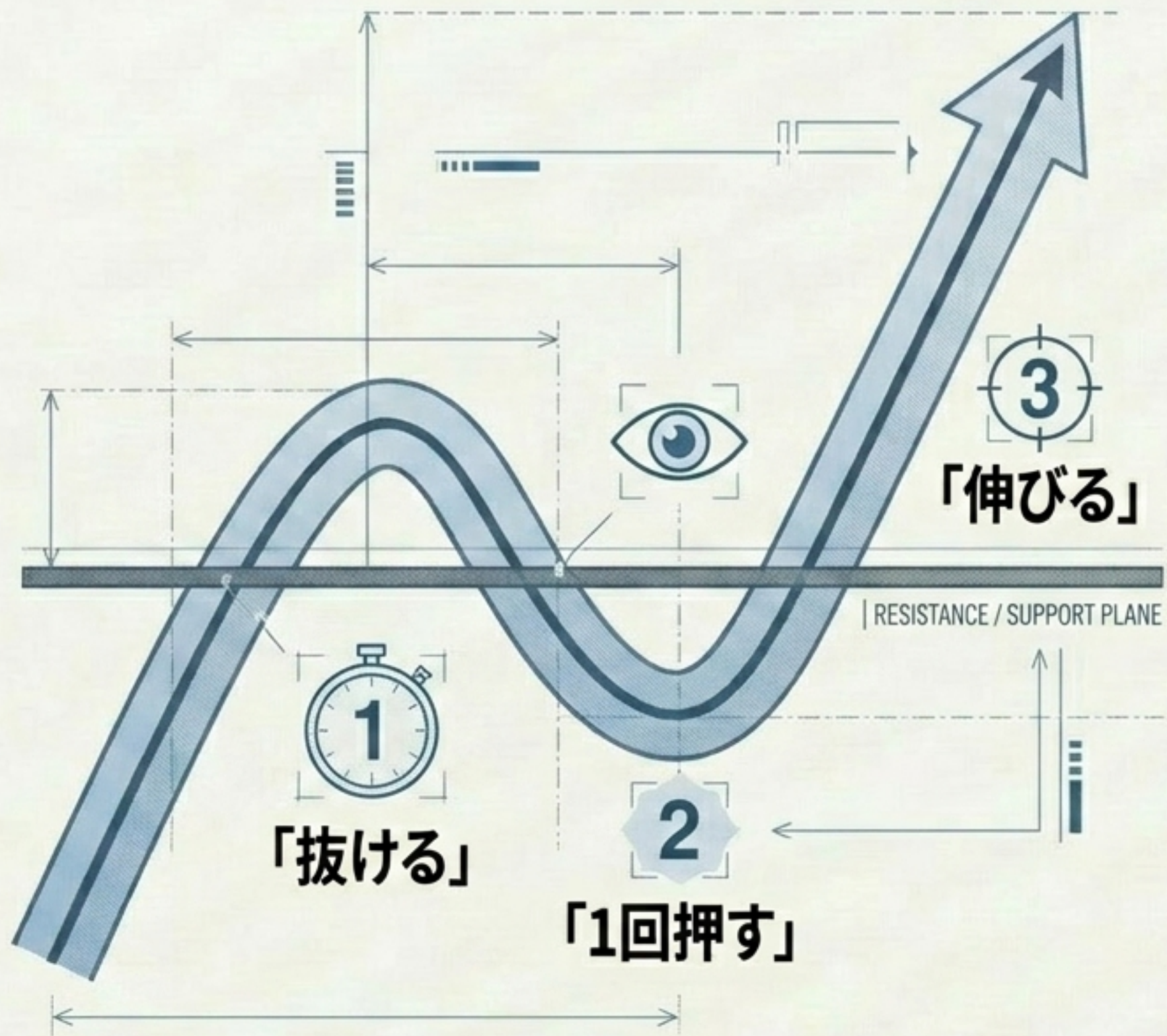
共通認識の転換： ロールリバーサル

今まで上値の壁だった価格帯が、サポートとして機能し始める現象。これが、市場参加者の「高すぎる」から「安い」への認識転換を証明する最大のサインです。



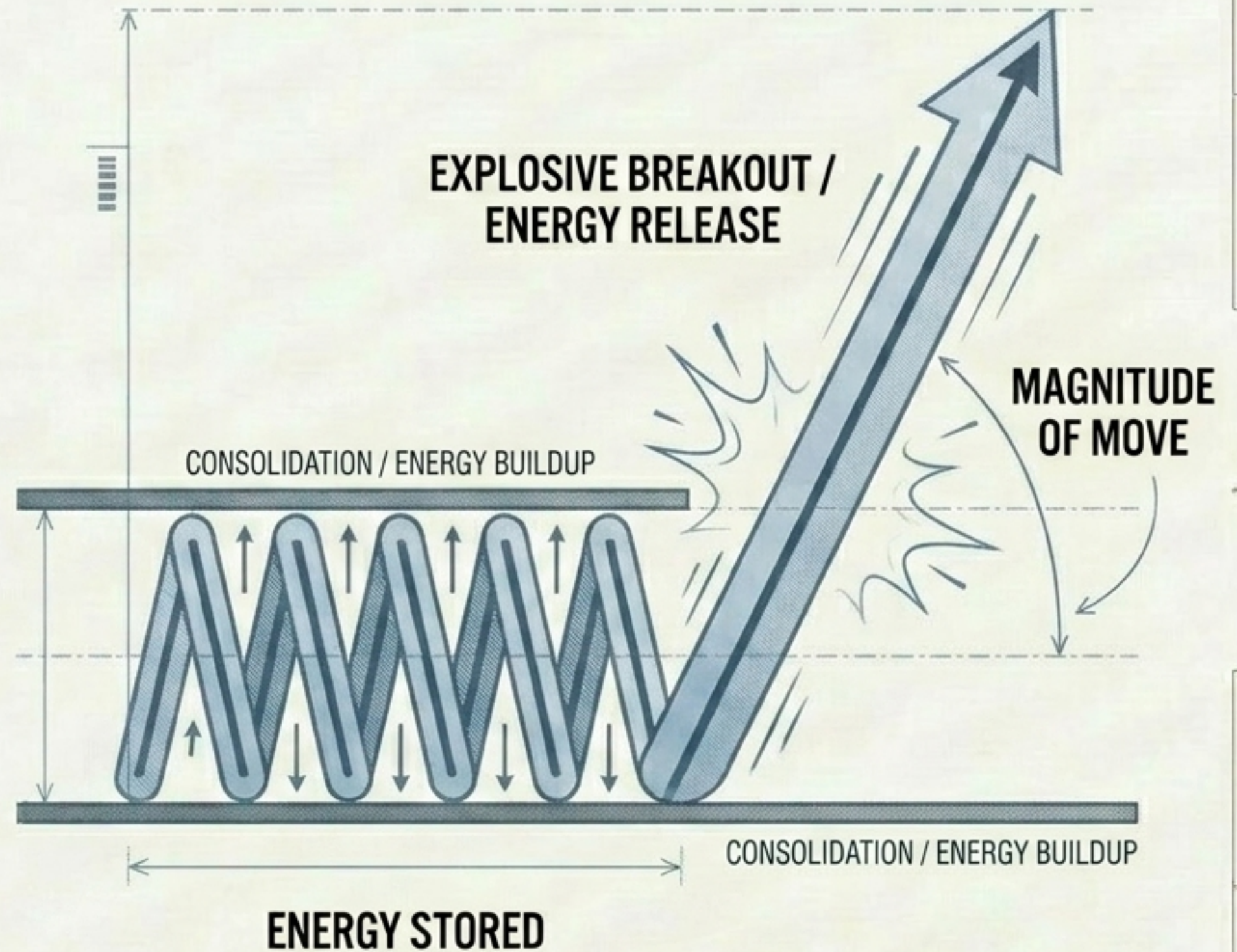
王道の「1回押し」 を待つ

強いブレイクアウトは、実は一回押すことが多いのが特徴です。焦って直後に入らず「1から伸びる」パターンを確認してから乗ることで勝率が安定します。



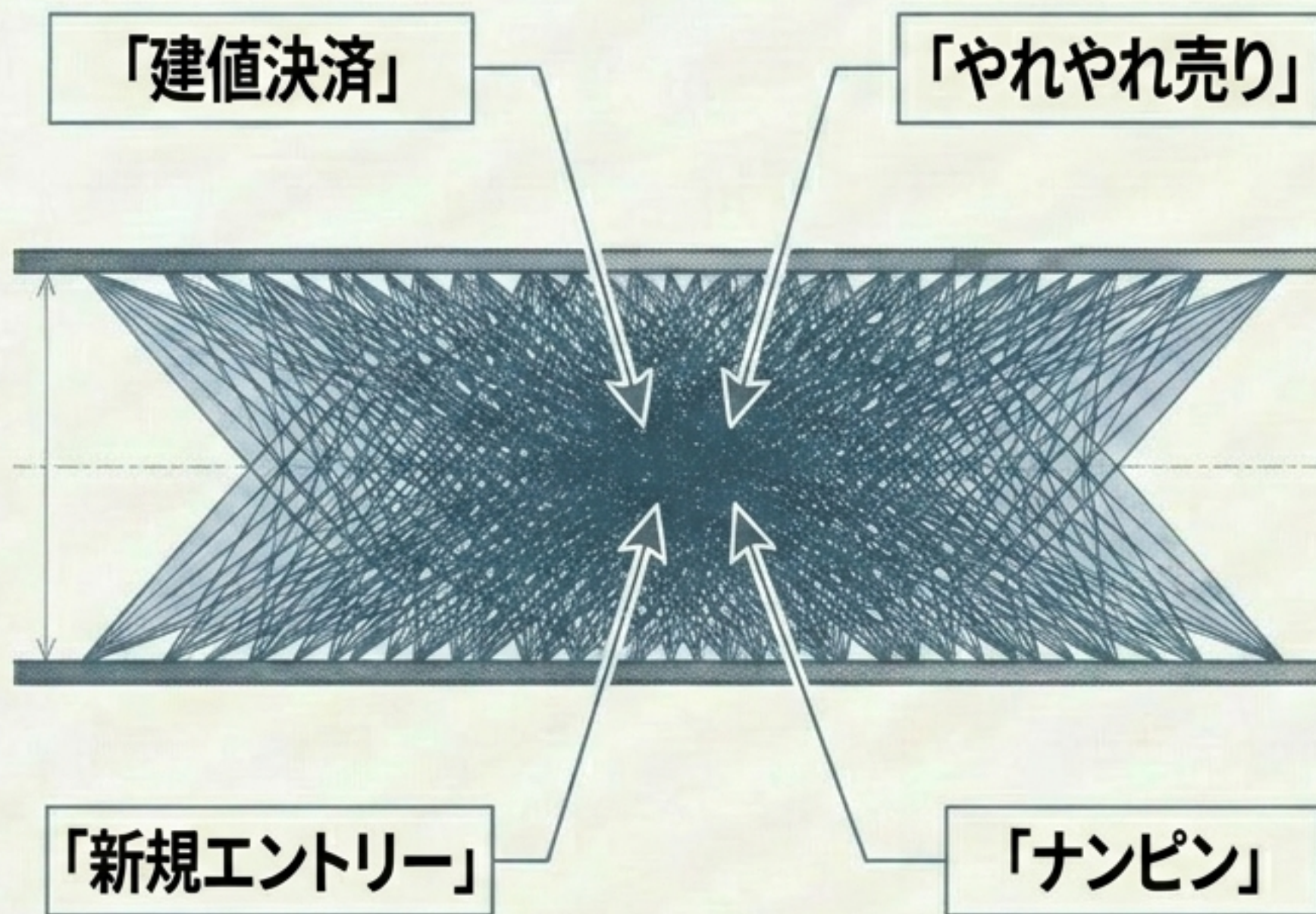
保ち合いが生む 「エネルギーの爆発」

ブレイク前に長い値固め（保ち合い）があるチャートは、買いと売りが綱引きのように拮抗してエネルギーが溜まっている状態です。値固めが長いほど、放れた後の値動きは大きくなりやすいです。



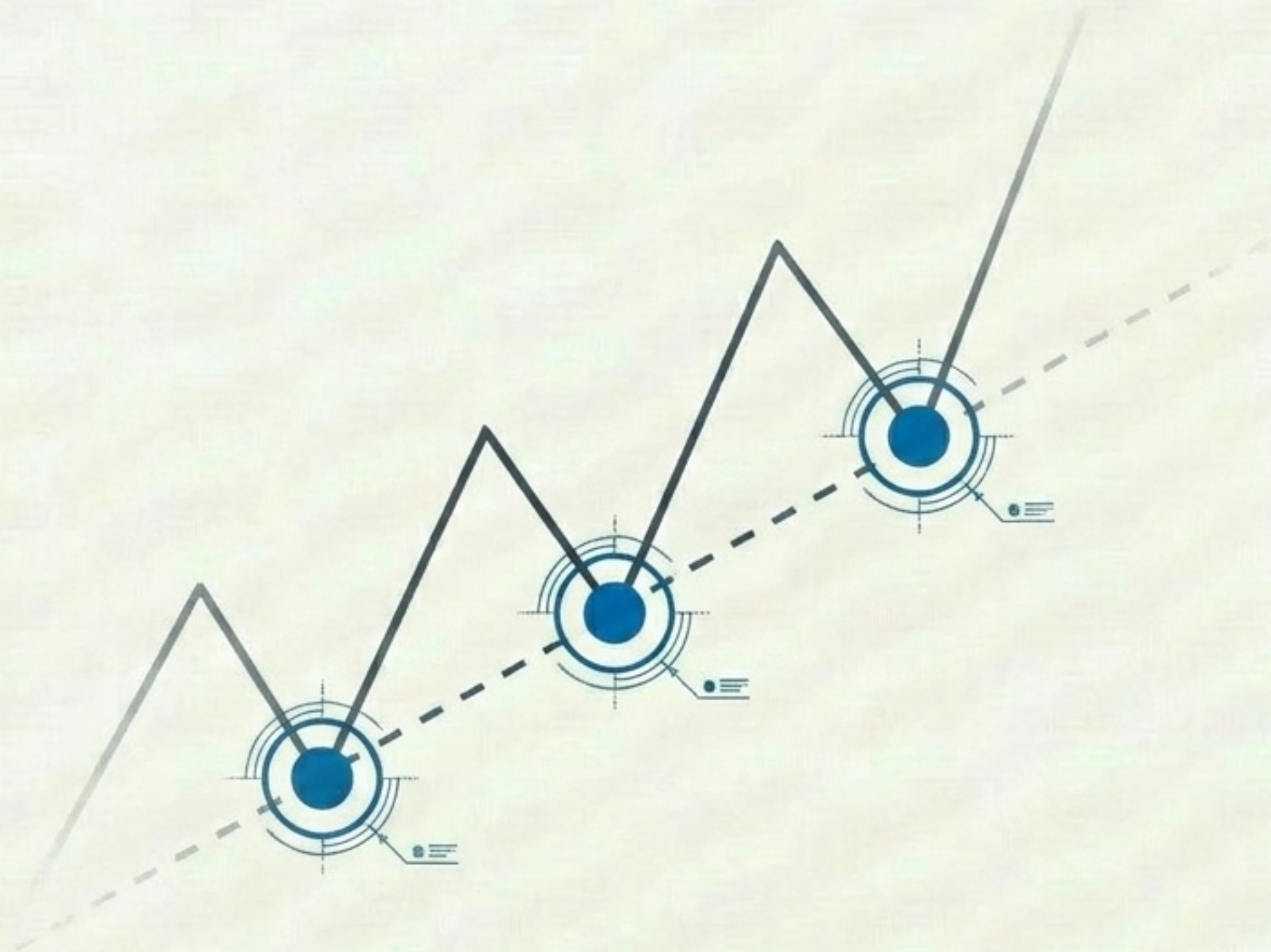
なぜ値固めされた ラインは強いのか？

多くの人がある価格帯で取引しているからです。様々な注文が密集しているため、後で価格が戻ってきた時に大量の注文が発動し、非常に強いサポートやレジスタンスとして機能します。人が多く集まった場所は強いのです。



トレンドラインも 本質は同じ

斜めのラインも水平線と同じです。重要なのはラインそのものではなく、「市場参加者がそのラインを意識して反応しているか」です。割っても戻されるなら、市場の認識は変わっていません。



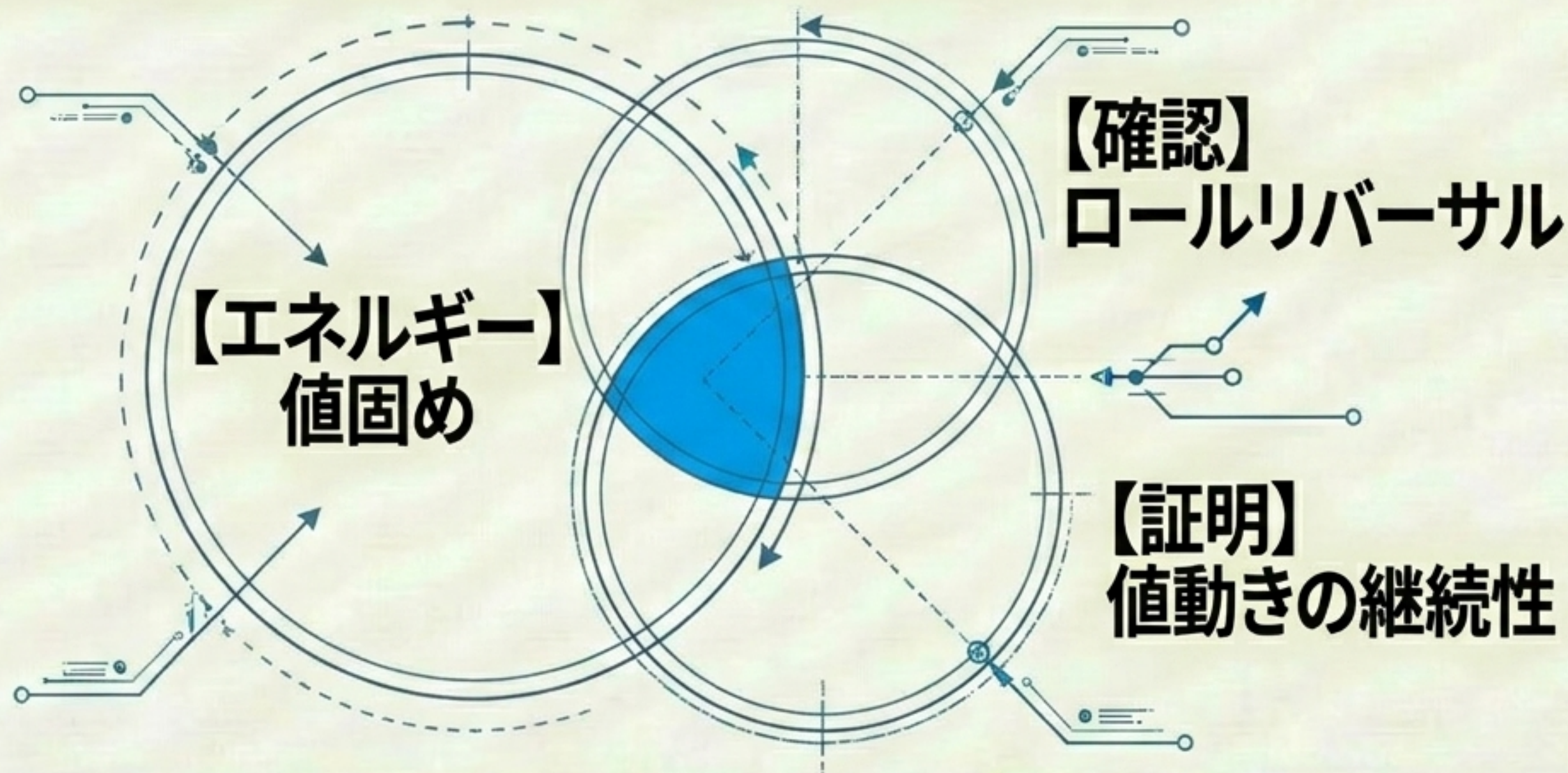
視点の違いが結果の差になる

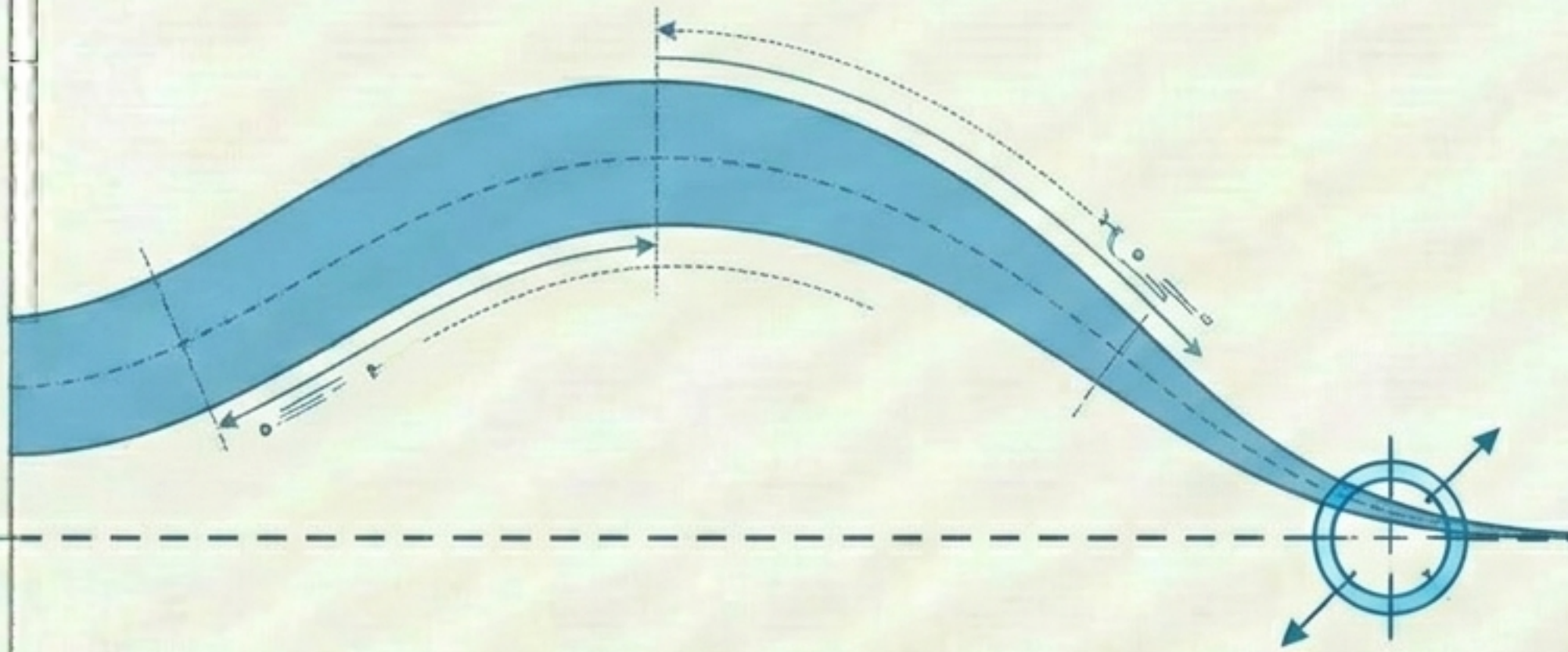
勝つトレーダーは、単純な高値更新だけを見ていません。
「市場参加者が本当にその方向を信じているか」を確認してから動きます。

	「初心者」	「継続的に勝つ人」
着眼点	「抜けた瞬間」	「値動きの継続性」
心理	「焦り・置いていかれる」	「確認・相場は逃げない」
行動	「飛び乗りエントリー」	「ロールリバーサルを待つ」
結果	「ダマシに巻き込まれる」	「信憑性の高い波に乗る」

高勝率ブレイクアウトの3要素

この3つの要素が重なった時、ブレイクアウトは単なる「線の突破」から、市場全体が合意した「巨大なトレンド」へと進化します。





「飛び乗るゲーム」からの卒業

FXは「抜けた！飛び乗れ！」のゲームではありません。
「抜けた後に市場がどう反応するかを見るゲーム」です。
一呼吸置き、相場が自ら方向を証明するのを待つ。
それだけで、あなたのトレードは劇的に変わります。